



今月は
不知火町長崎の昔ばなし

大人足
おくとがし
昔むかし、おくとどんと呼ばれる大男がいました。ある時、おくとどんが不知火海を渡ろうと、右足を左足を小川町の小野部田にかけようとした時のこと。海はちようど満潮で、おくとどんの真下を鱈が泳いでいました。これに気付かなかったおくとどんはかわいそうに、鱈からパクリと急所を噛みつかれてしまいました。その時にできた大きな足跡は、大人足やおくとどんと呼ばれるようになり、そのくぼみには草木も生えなかつたそう。でも、その後、おくとどんがどうなつたかは、誰も知らないんだとさ。

イラスト／村上明日香
(不知火美術館学芸員)



市民が作る観光サイト「Uki trip」を立ち上げました。まずはココ！の「さしより宇城市」やあなたの好奇心を満たす旬の話題「わさもん情報」などをいち早く皆さんにお届けします。



見た！聞いた！
地域の魅力再発見！

「見る・知る・食べる」をこのサイトで



夏休みを利用して参加してもらおう？

絵日記でスポット紹介する？



みんなで作るこのサイトでは、子どもたちも広報担当者に。この日は、「子ども宝探し」をテーマに商工観光課の職員たちと一緒に子どもの参加方法などについて、作戦会議を行いました。



広報特派員や地域おこし協力隊が市内で起きた出来事を伝えます。

あの人のこの一言

大学卒業後、三重県や東京都でプログラマーの仕事に就いていましたが、結婚を機に夫の故郷熊本へ。最初は方言が全く分かりませんでした(笑)。不妊に悩んだ時期もありましたが、障がい者支援の仕事をするようになり、前向きに生きる皆さんの姿に励まされました。

音楽が好きで、高校生の頃からサクソフォーンを吹いています。こちらでも音楽仲間と音楽に子育てに奮闘してきました。今は地元のプラスバンド「かあちゃんず」などを掛け持ちしながら、障がいの有無を超えたバンド「ザ★スクランブルズ」の活動にも参加しています。



田島 由起さん
56歳 松橋町

市民の何でもランキング

あなたに最も身近な人が選ぶランキングを発表。何かを決めるときの参考にしてみませんか。

- 今回のテーマ
「コロナ禍で始めたことは？」
- 1位 🏆 77票 ドラマ・映画鑑賞
 - 2位 73票 3密を避けた運動
 - 3位 57票 ガーデニング・DIY、手芸

市民
347人
の回答

PICK UP!
時代劇ドラマ鑑賞
お昼に水戸黄門を見るようになりました。



吉川 継雄さん
(小川町)

次回のテーマは 回答期限:6/7日
「あなたの暑さ対策は何？」
回答は市公式LINEやメール、お便りで。皆さんの回答お待ちしております。



用の美を楽しむ

「盛り付けのイメージが湧き、料理が楽しくなるような器作り」と話すのは、井銅心平さん。「日常に寄り添う」、「食を楽しむ」をテーマに三角町大田尾の粘土を使い、焼くと美しい紋様が浮かび上がる三島や、釉薬をかけない焼き締めなどの器を制作している。大学卒業後、佐賀県唐津市で修業。2010年、



はぎみがま 萩見窯
松橋町萩尾146-3
☎53-9354

1 蹴ろくろで薄く、軽く、美しく 2 型打ちはテンポよく 3 調和を大切に表情が足された模様

手しごとさんぽ。

ものづくりをする手から生まれる作品は暮らしを心豊かに彩る：そんな命を吹き込む手仕事を紹介します。